

# 京都嵯峨芸術大学広報

## Special Issue

### 新入生のみなさんへ

- 実習室だけが大学ではないということ -

## News

平成15年度予算編成の基本的方針 / 新校舎建設計画 ほか

## Topics

観光デザインの活動 / 新入生を迎えて ほか

## Information

入学試験関連情報 / 展覧会情報 ほか



# 新入生のみなさんへ - 実習室だけが

三好郁朗 京都嵯峨芸術大学 学長



4月、新入学のみなさんをはじめてキャンパスに迎えた日は生憎の雨模様でした。それでも、桂川の堤から清流越しに眺める嵐山がまさに桜花爛漫、一年でもっとも華やいだ姿を見せていました。それがもう、今は一面の緑、いささか緊張気味だったみなさんもすっかり大学生活になじんだようですし、毎年のように繰り返される情景なのですが、やはり時間の流れには圧倒される思いです。

自然の営みといえば、芸術大学である本学で学生生活を送ることを選択したみなさんには、とりわけ自然のたたずまいに敏感であってほしいと思います。自然の美しさを讃えるだけでなく、たとえば自然と人間のかかわりの歴史をしっかりと学んでほしい。限りある自然を護り育て、自然とともにありつづけるのでなければ、人類の未来もまたありえないのですから。

そのために今、人類が何をなすべきか、来るべき時代の人間と自然のかかわりはいかにあるべきか、そのことをしっかりと考え、みなさんのこれからの勉強に、作品づくりに、日常生活に、反映させてほしい。

思えば遠くアルタミラの昔から、人類はつねに自然と向き合い、その感動や祈りを広い意味の芸術として表現してきました。わが大覚寺学園は、弘法大師空海を宗祖といただく大覚寺が母体となって創設された学園ですが、大師が説かれたところによれば、世界は曼荼羅の姿をなし、そのすべてが如来の身体の一部である。したがって、森羅万象すべてが聖なるものなのであって、人間はおろか、動物も、自然も、草木も、すべてが悟りを開きうるのです。われわれにとって、自然と向きあう心のありようがいかに大切かということではないでしょうか。ご存知のように大覚寺には華道・嵯峨御流の長い伝統が残されています。それもまた、そうした精神につながるものでありましょう。

そして本学が、前身である嵯峨美術短期大学を開いて30年、四年制の芸術学部ならびに短期大学部を併設する京都嵯峨芸術大学へと改組

を遂げ、わが国における芸術教育のなお一層の発展に貢献しようとしているのも、またその理念につながることでした。

これからみなさんが本学で過ごす2年、あるいは4年を、なによりまず表現者としての自分を充実させるための、かけがえのない時間にしてもらいたい。芸術表現に技術の巧拙が重大な意味を持つのは当然ですが、それ以上に、表現者ひとりひとりの内面に、表現に価する何があるのか、そのことがまず問われねばなりません。

学生諸君の作品を見ていていつも心打たれるのは、技術的に未熟であろうとコンセプトが幼かろうと、もてるすべてをかけて自分を表現しようと格闘した時間の密度が、作品に限りない魅力と存在感を与えていることです。

もちろん、未成熟な表現意志はときにひとりよがりになり流れたり、いたずらに暴力的であったりもする。それが真の自己表現となり、芸術作品とよばれるにふさわしいものとなるには、どこかで自分の周囲の人々との共感が成立しなければならぬのです。

自分の精神と他者の精神の対話という、人生にとって実にかげがえのない体験を創作の場を通じて獲得する、それこそが、知性と感性の涵養、技術の習得とともに、大学における芸術教育の、もうひとつ大きな目標ではないでしょうか。

私がひそかに愛してやまぬ画家の一人に、19世紀末、いわゆるベルエポックの時代に、流星のようにあらわれて消えたマリー・バシュキルツェフという、ロシア生まれ、フランス育ちの女性画家がいます。絵を学びはじめてわずか6、7年で、立て続けにサロンに入選するなど、その天分を發揮しましたが、24歳という若さで胸を病んでこの世を去ったため、けっして大成した画家とはいえず、その名も作品も、ご存知ない方が多いと思います。

その彼女の死後に、ノートにして百数十冊、一万数千ページに及ぶという膨大な量の日記が残



## 学ではないということ -

されました。その一部は早くから紹介され、フランスはもちろん、日本をも含めた世界中に熱烈な読者がいるのですが、全貌はいまだ未紹介なままで、近年ようやく画業の見直しとともに、世紀末フランスの雰囲気を見事に伝えるこの日記の方も、全体の整理刊行が進行中です。

そこでマリーが繰り返し述べているのは、自分がこの世に生きたという証を、なんとしても残したいという思いでした。早くから胸を病み、許された時間の限りあることを切実に感じていただけに、その思いもひとしおであったらうと思われます。自分の生きてきた証、彼女の場合はそれを絵画制作に求めたわけですが、その思いの切実さと真摯さが、未完成のまま終わったこの画家の作品の前に立つ者の心を、強くひきつけてやみません。

みなさんもまた、芸術を通じて自分を表現するだけでなく、どうすれば他者にその感動を共有させられるか、その方法を学ぼうとしているわけで、自分がこの世に生きた証を残すのにこれほど恵まれた分野もないと言えます。

今日のように明日が明確に見通せない不確定性の時代に一番大切なことは、自分を正しく表現し、周囲の人々にそれを伝達する術をもつことでしょう。そういう意味でも、みなさんがこれから本学で学ばれることを通じて、自分自身の人生を豊かにするとともに、時代の精神にも敏感に反応しながら、自分が生きた証を残すべく努めてもらいたいと願うわけです。

芸術大学における教育の目標は、けっして創作技術の伝授に終わるものではありません。芸術がいかに人類社会のありように貢献できるかを学び、考えることこそ、芸術大学にとって最大の存在意義かもしれません。世界を捉えるみなさんのまなざしが、本学で過ごす時間によって一層の深さと広がりを獲得してほしいものです。

絵が好きだから絵を描く、それだけでも大変すばらしいことですが、わざわざ大学で芸術を学ぼうというからには、そこにとどまらず、芸術を芸術



たらしめているその根拠についてもぜひ学んでほしい。

みなさんの卒業制作展には、技術的な進歩はもちろんですが、そうしたいわば哲学的、理論的な深まりを感じさせる、内容ある作品が並ぶことを、いまから楽しみにしたいと思います。

この原稿を書いている今このときも、人類世界は激しい恐怖と痛みにも身をよじっています。かつての世界大戦のおぞましさ、戦後の廃墟の痛ましさを、わずかながらもこの身で記憶している世代の一人として、明日を背負う世代のみなさんに、どうすれば戦渦のない世界が現出するか、穏やかで平和な日常という人類永遠の願いが実現するため、自分たちの芸術的才質が何をなするか、ぜひ考えてもらいたいと願うものです。

そうした意味でも、実習室で絵筆をとることだけが芸術大学における勉強と考えず、いろいろと幅広く学んでいただきたい。

ものごとくに積極的に取り組む姿勢さえ失わなければ、みなさんの学生生活を充実させるための場は、大学のキャンパスを越えてさまざまに広がっていくでしょう。大学としてもそのための協力は惜しまないつもりです。

## 平成15年度予算編成の基本的方針

二十一世紀を迎え、我が国の教育界はまさに重大な試練の時期を迎えています。この時期に文部科学省は大学審議会の答申である「大学の質の保証に係る新たなシステムの構築について」をもとに、設置認可の在り方の見直し、第三者評価制度の導入、法令違反状態の大学に対する是正措置の他、教育研究活動や財務関係の状況・評価結果など大学の情報を積極的に提供すること、学生の就学機会の確保方策等について検討するよう求めてきており、これに基づいて「学校教育法」が平成15年4月から改正・施行されることになっています。特に第三者評価による大学評価制度の導入は、定期的に評価を実施、その結果を公表し、文部科学大臣に報告することが義務付けられ、その評価内容により大学の質とランクが明らかになることで、まさに大学の生き残りそのものが問われることとなります。

本学園でも、四年制大学の完成年度である平成16年度内には、四大における教育課程の内容・システム等の見直しをはじめ、短期大学部の改組・改善策の早期策定、学生課外活動拠点の整備、四大年次計画に基づく教室改修計画の実施が内定していると同時に、近い将来には実現しなければならない実習棟・教室棟の建て直しも視野に入れた長期財政・資金計画の策定と再検討を急いでいます。その基盤作りとして、理事会が責任を持つ長期基本計画に基づいた第2号基本金組入れを、本年度は新校舎建設という大事業

を控えていることから平成16年度には具体化することとし、理事会が持っている将来展望への強い意思表示が明確になるようにしなければならないと考えています。

平成15年度予算(案)の編成にあたっては、これらの計画を実現させることを最重要・最優先の課題とすると同時に、学生確保を前提とした施策を積極的に展開するとともに、新入学生・在学生を対象とした支援策を充実させ、就学困難な学生を失うことのない奨学金の増額予算も確保することとしました。更に大学が持つ知的資産を学外に知らしめる講座開設や、学生が大学生活に魅力を持ち得るようなハード・ソフト面の充実に必要な経費を充実することで、学生確保にも繋がるものと考えています。

学園運営の健全化を推進するためにも、個人・各部署それぞれが徹底した予算管理主義の高揚と費用削減に関心を持ち、新しい大学づくりに邁進して行くこととしています。

### [主な具体的予算編成内容]

1. 新校舎(仮称)の建設着工・完成
2. 学生課外活動拠点の新設及び学生ホールの改修
3. 大学院設置計画と短期大学部教学改革の具体的推進
4. 京都嵯峨野文化サロン・生涯学習講座の開設
5. 校舎建て直し計画を主眼とした学園施設将来計画の立案
6. 就職活動への積極的支援策の実施

平成15年度資金収支予算書			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	1,776,990,000	人件費支出	1,173,970,000
手数料収入	43,023,000	教育研究経費支出	335,575,000
寄付金収入	6,000,000	管理経費支出	199,446,000
補助金収入	132,808,000	借入金等利息支出	55,669,000
資産運用収入	467,000	借入金等返済支出	173,940,000
資産売却収入	50,000,000	施設関係支出	926,095,000
事業収入	7,070,000	設備関係支出	66,397,000
雑収入	85,068,000	資産運用支出	50,000,000
借入金等収入	600,000,000	その他の支出	60,185,000
前受金収入	644,165,000	予備費	20,000,000
その他の収入	138,417,000	資金支出調整勘定	44,274,000
資金収入調整勘定	746,061,000	次年度繰越支払資金	2,108,707,997
前年度繰越支払資金	2,387,763,997		
収入の部 合計	5,125,710,997	支出の部 合計	5,125,710,997

## 新校舎建設計画

本学前にある桂川の森原堤に直面し、景勝嵐山を望む絶好の場所に購入した新校地2,175,20㎡へ、本年5月20日頃を着工日、平成16年4月完工を目標として「森原校舎(仮称)」を建設することになりました。

現校地から歩いて約2分程度の場所に建つことになる新校舎の基本コンセプトは、地域に開かれた大学の活動拠点、自然と伝統の中に生きる芸術教育の場とすることであり、学生諸君のみならず、地域社会の文化振興に貢献する施設としての活動を展開することになっています。

新校舎「森原校舎(仮称)」は延べ床面積約4,117㎡の地下1階、地上4階の建物となります。地下1階は図書館書庫、閲覧室(約1,086㎡)、地上1階は2階まで吹き抜けるゆったりと落ち着いた雰囲気のあるスペースで、視聴覚設備や検索機能を備えた開架式図書館閲覧室、談話・読書スペース、事務室等(約904㎡)を設け、地上2階は就職・入試情報センターとして情報端末を数十台設置し、インターネットを利用した情報収集やメール交換等、大いに利用していただくとともに、就職関係の資料閲覧室、相談コーナーも設置、多くの情報案内機能を兼ね備えた総合的な情報センター(約705㎡)とします。ここは学外の方も利用できる開放した空間として、地域貢献に役担いたいと考えています。3階(約765㎡)・4階(約657㎡)は大小あわせて7教室の他、ラウンジ・ベランダ等も加えた施設が揃うこととなります。特に4階にできる一番大きな教室は、約200人の収容が可能で、公開講座や生涯学習の場としても利用することにしています。

基本構想・基本設計  
京都嵯峨芸術大学企画室  
プロジェクトチーム



森原校舎(仮称)完成予想図

## 平成15年度新体制発足

### 執行部体制(運営協議会)

平成15年度の執行部が下記の通り編成されました。

学長	三好郁朗 教授
芸術学部長	箱崎睦昌 教授
短期学部長	黒川彰夫 教授
教務部長	森本武 教授
学生部長	有岡保行 教授
入試部長	増田洋 助教授
企画広報室長	大竹仁子 教授
総務部長	午居隆平 事務局長

### 教学体制

平成15年度教学体制の責任者が、下記の通り決定しました。任期は2年間です。

芸術学部造形学科長	平松國和 教授
芸術学部観光デザイン学科長	桑田政美 教授
短期大学部美術学科長	北村正己 助教授
短期大学部専攻科長	吉水絹代 教授
講義部門長(共通)	大森正夫 助教授
短期大学部美術・工芸部門長	北村正己 助教授
短期大学部デザイン部門長	有岡保行 教授

### 附属施設等体制

平成15年度の附属施設ならびに研究

機関の体制が以下の通り決定しました。

附属施設センター長	黒川彰夫 教授
附属図書館長	黒川彰夫 教授
附属博物館長	山路興造 客員教授
芸術文化研究所長	三好郁朗 学長
観光デザイン研究センター長	真板昭夫 教授

### 事務局人事

平成15年度の異動ならびに昇格人事が実施されました。

事務局長	午居隆平(前総務課長)
総務課長	三上敦子(新任)
入試課長	小澤昇士(前企画広報課長)
附属施設課長	神原滋(前入試課長)
図書館課長	淀川裕美(前附属施設課長)
学生課係長	牧野光善(前入試課係長)
教務課係長	野副幸子(前総務課員)
経理課主任	桜井昭和(前総務課員)
入試課員	松本透(前経理課員)
企画広報課員	大前智(前教務課員)
図書館員	中島健三(前学生課員)

### 名誉教授称号授与

平成15年3月31日に退職された短期大学部美術学科日本画標準コース、西真先

生(教授)に名誉教授の称号が授与されました。(平成15年4月1日付)

### 昇任人事

下記の先生方が平成15年4月1日より昇格されました。

教授昇格	
短期大学部美術学科	池田八栄子
短期大学部美術学科	藤本秀樹
短期大学部美術学科	有岡保行
助教昇格	
短期大学部美術学科	杉山真由美

### 新規任用客員教授

平成15年4月1日付にて着任されました。

芸術学部	伊庭新太郎
短期大学部	山路興造

### 新規採用教職員

下記の教職員が平成15年4月1日付にて着任されました。

造形学科専任講師(油画)	山本直樹
観光デザイン学科専任講師(環境デザイン)	藤木庸介
総務課	三上敦子
附属施設課(博物館)	佐野恵子

## 入試結果報告

京都嵯峨芸術大学 平成15年度入学試験結果										
造形学科 (分野別)	志願者数			受験者数			合格者数			競争率
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
日本画	16	87	103	16	85	101	1	30	31	326
油画	50	88	138	50	85	135	13	35	48	281
版画	9	34	43	9	33	42	5	18	23	183
メディアアート	39	51	90	39	49	88	14	24	38	232
彫刻	8	13	21	7	13	20	6	13	19	105
観光デザイン学科	80	127	207	79	126	205	26	61	87	236
総合計	202	400	602	200	391	591	65	181	246	240
京都嵯峨芸術大学短期大学部 平成15年度入学試験結果										
美術学科 (標準コース別)	志願者数			受験者数			合格者数			競争率
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
日本画	2	38	40	2	38	40	2	37	39	103
洋画	12	50	62	12	47	59	5	45	50	118
混合表現	5	28	33	5	26	31	5	26	31	100
陶芸	5	16	21	5	16	21	5	16	21	100
染織	3	29	32	3	29	32	3	29	32	100
グラフィックデザイン	23	81	104	23	78	101	16	56	72	140
イラストレーション	31	128	159	30	123	153	6	64	70	219
インテリアデザイン	22	36	58	21	35	56	20	35	55	102
生活デザイン	5	33	38	5	33	38	5	32	37	103
総合計	108	439	547	106	425	531	67	340	407	130

合格者・競争率には第2志望合格者は含まれません。



## 新任教職員紹介

山本 直樹(芸術学部/造形学科)



大衆の欲望によって膨張したメディアは、仮想現実の世界に取り込まれて、もはや何が真実なのかもわからなくなり、現実さえも操作可能になってしまっている。人々は「嘘」に慣れ、遥かの戦禍には、映画かゲームのようにしか感じられない。このような現実のなかで、シンプルに「絵を描く」という行為は、自己の姿を写し出す「鏡」を作っているように思える。限りなく可能性のある京都嵯峨芸術大学で「鏡」を磨き、曇らさずにしていきたい。

三上 敦子(事務局/総務課)



はじめまして、三上と申します。前任の職場では主に教学関係の仕事をしていましたが、縁あってお世話になることとなりました。現在の大学、特に小規模の私立大学を取り巻く状況は大変厳しく、荒波の海に漕ぎ出す船のようなものだと思っています。しかし、よく言われるように厳しいときこそチャンスと思って、新しい出会いや発見をしながら全員の力で進める大学になっていくことが大切だとも思っています。私も新たな環境のもと、前職の経験や蓄積を活かしながら頑張りますのでどうかよろしくお願ひします。

藤木 庸介(芸術学部/観光デザイン学科)



環境デザインを担当いたします。この3月までは和歌山大学システム工学部環境システム学科において、環境システム設計と建築設計を担当していました。また大学での活動とは別に、建築家として住宅などの建築設計活動も行っています。環境デザインや建築に興味のある学生は、学科を超えてどんどんコンタクトを取って下さい。皆さんと共に、実践を通じた有意義な活動を行っていきたくと思っています。

佐野 恵子(事務局/附属施設課)



附属博物館の学芸員に着任致しました佐野です。博物館や美術館に従事して12年程になりますが、専門は民俗学・民具学です。特に京都の呪物研究(民俗宗教)について、ここ数年、調査・発表しています。博物館はまだ開館して新しい事もあり課題は多々ありますが、やりがいを感じています。今後の大きな課題としては、学内外の双方に博物館の認識を持って頂く事と、魅力ある企画展示をご提供して行く事です。よろしくお願ひ致します。

平成15年度 新規委嘱非常勤講師

[芸術学部]

フィリップ・アレクサンダー・トカルシ  
銭 形  
朱 鳳  
岡崎 貴子  
塩路 有子  
佐藤 文子  
辻 喜代治  
中島 敬介  
太田垣 實  
井上 卓哉  
杉崎 貴英  
沖中 重明  
筋内 新一  
青木 敏郎  
渡邊 紅月  
平岡 靖弘  
森岡 美希  
大槻 佐保子  
集治 千晶  
長谷川 潔  
竹内 創  
人長 果月  
米津 泉  
橋本 和代  
石野 耕一  
村元 純子  
江本 浩美  
林 基子

[短期大学部]

フィリップ・アレクサンダー・トカルシ  
笹谷 直美  
西村 久子  
初倉 富子  
本田 シヅエ  
緒方 康二  
栗山 守正  
鳥山 武弘  
新田 佳郎  
大住 由季  
黒住 拓  
星野 直子  
根垣 睦子  
粟倉 久達  
松永 彩  
福井 恵子  
藤本 ひづる  
河井 敏明  
嶋 直美  
高砂 由利子  
田口 小枝子  
香川 眞弓

順不同、敬称略



## 大学報告

### 生涯学習講座を開講

今年度より新たに生涯学習講座を開講することになりました。初年度である今回は全12講座を開設。芸術系大学として、日本画、洋画、陶芸、彫刻などの実技指導を中心とした講座と同時にデジタルコミュニケーション時代に対応できる一味違ったコンピュータ講座なども開設しました。作品による「自分史」作成を目標とした生涯学習講座の一部は、この5月からいよいよスタートです。



## 展覧会報告

### 油画研究室展「思考する視線」



3月18日(火)から23日(日)まで、京都市中京区の「同時代ギャラリー」において、芸術学部造形学科油画分野の

研究室展が開催された。

『思考する視線』と題された同展は、昨年度で退職された伊庭新太郎先生をはじめ、入佐美南子助教授、宇野和幸助教授、教務助手の小島大輔氏ら、油画研究室の指導スタッフが出品したグループ展である。

会場には本学在学学生など多くの人が訪れ、それぞれの作品を興味深く鑑賞していた。この油画研究室展は、今後も隔年で開催されていく予定である。

## 観光デザインの活動

### 葦プロジェクト

- 第3回世界水フォーラムへ参加 -

水質浄化の働きを持つ葦の保全と有効利用を研究活動のひとつとしている観光デザイン学科の金氏脩介教授が、同学科の在学学生有志とともに、2003年3月16(日)~3月23日(日)まで、世界水フォーラム滋賀会場に葦を使ったオブジェを展示した。また、葦を使ったオリジナルランプやデザイン作品も出品し、観光デザインの立場から環境問題へのアプローチを試みた。



### 美山町宝探しマップ作成プロジェクト

京都府北桑田郡美山町から委託を受け、本学附属の観光デザイン研究センターの受託事業として、宝探しマップの作成プロジェクトが始動した。

3年計画の本プロジェクトの第一弾は、2003年1月20日(月)~3月31日(月)まで、真板昭夫教授ならびに山村高淑講師が中心となって、学生有志と数回にわたり現地調査を行った。

現地調査と住民へのヒアリングを通して、隠れた地域資源を発掘し、そのフィールドワークの結果を宝探しマップや資源リスト、ヒアリング集としてまとめ、地域住民に周知するとともに、今後の観光を通じた地域振興のあり方について提言を行っていく予定である。

また、現地に有識者、観光行政担当者等を招聘し、美山町の今後の観光に関するシンポジウムの開催を予定している。



## 学外交流

### エディンバラ美術大学生が京都訪問

エディンバラ美術大学ドローイング&ペインティングスクールのフィオナ・マティソン教授が学生10名を引率して京都を訪問された。さまざまなレベルで交流を進めている本学では、学生食堂において歓迎会を催し、サマースクールに参加した本学在学学生らが訪問団を歓迎して、一層の友好を深めた。

### 大覚寺華道祭に作品展示

華道「嵯峨御流」の祖とされる嵯峨天皇の命日にあわせて4月13日(日)~4月15日(水)に執り行われた大覚寺の華道祭に、卒業・進級制作展からの選抜作品を出品し、華道祭に彩りを添えた。



## 新入生を迎えて

### 新入生歓迎祭

学友会執行部が主体となって企画した新入生歓迎祭が、4月19日(土)に行われた。模擬店やフリーマーケット、ライブなど、規模こそ小さいが学園祭を凝縮した形で開催。クイズ形式のスタンプラリーで学内の主要スポットを新入生が訪れるイベントなどを通じ、交流を深めた。

### 下宿生交流会

新入生、特に下宿生にとっての4月は親元から離れた生活を始めることによる期待と不安の日々が想定される。本学では初の試みとなるが、心のケアを含めた学生同士のふれあいの場所づくりとして、交流イベントを開催する運びとなった。4月26日(土)に行われた平成15年度交流会では、校医による健康管理についての話や先輩からのアドバイス、学生食堂の協力を得たクッキング教室などを実施した。

## 研究生展

本学附属芸術文化研究所に所属する研究生12名による作品展が、2003年2月19日(水)~3月9日(日)に開催された。日本画・洋画・版画・イラストレーション・ミクストメディア・環境デザインなど、1年間の研究成果である作品が展示された。

## Visual Voice 愛



VCDⅠ(現グラフィックデザイン標準コース)、VCDⅡ(現イラストレーション標準コース)の卒業生および専攻科生による展覧会が、2003年3月11日(火)~16日(日)に開催された。グラフィックデザイン研究室の企画・指導のもと、14名の卒業生と7名の専攻科生が、それぞれの「愛」を表現した。人類は今、「愛」を問う時代に直面している。「愛」とは何か。多くの学者、芸術家が模索し追求し続ける、その大テーマに向けて、クリエイターたちが、写真やイラスト等を駆使したビジュアルによるアプローチを試みた。会期最終日には、デザイントークも開催された。

## 新鮮感2003

短期大学部第2回卒業・修了制作展から選抜された優秀作品19点による展覧会が、4月1日(火)~4月13日(日)に開催された。本企画展は、従来、京都の画廊・ギャラリーが主催する「KYOTO ART MAP」の協賛事業として隔年で実施してきたが、本年は本学の単独企画として実施した。新鮮感というタイトルには、若々しいアーティストやクリエイターの感性を感じ取ってもらいたいとの願いが込められている。



## 入学試験関連情報

今年度開催予定の進学相談会、オープンキャンパス等の主なスケジュールは、右記のとおりです。

2004年度入学試験の詳細については、6月上旬に配布予定の「2004年度学生募集要項」に掲載します。ご希望の方は、入試課までご請求ください(無料)。

[入試課]

TEL075 864 7878(直)  
nyush@kyoto-saga.ac.jp

2003年度 進学相談会・オープンキャンパス等予定					
日	日程	時間	形式	会場	主催
6月	1日(日)	11:30 ~ 16:00	相談会・実技講習	梅田スカイビル(大阪)	5芸大
	2日(月)	14:00 ~ 18:00	相談会	ホテルセンチュリー静岡(静岡)	5芸大
	3日(火)	14:00 ~ 18:00	相談会	新宿NSビル(東京)	5芸大
	3日(火)	14:00 ~ 18:00	相談会	和歌山ビッグ愛(和歌山)	5芸大
	5日(木)	14:00 ~ 18:00	相談会	ホテルモントレー札幌(北海道)	5芸大
	5日(木)	14:00 ~ 18:00	相談会	神戸国際会館(兵庫)	5芸大
	9日(月)	14:00 ~ 18:00	相談会	富山県民会館(富山)	5芸大
	9日(月)	14:00 ~ 18:00	相談会	リーガロイヤルホテル広島(広島)	5芸大
	10日(火)	14:00 ~ 18:00	相談会	メルパルク金沢(石川)	5芸大
	10日(火)	14:00 ~ 18:00	相談会	リーガロイヤルホテル小倉(福岡)	5芸大
	10日(火)	14:00 ~ 16:30(教師対象) 15:00 ~ 17:00(生徒対象)	入試説明会・相談会	ホテルグランヴィア京都	本学
	11日(水)	14:00 ~ 18:00	相談会	名古屋マリオネットアソシアホテル(愛知)	5芸大
	11日(水)	14:00 ~ 18:00	相談会	高松商工会議所(香川)	5芸大
	11日(水)	14:00 ~ 16:30(教師対象) 15:00 ~ 17:00(生徒対象)	入試説明会・相談会	ホテルグランヴィア大阪(大阪)	本学
12日(木)	14:00 ~ 18:00	相談会	岡山コンベンションセンター(岡山)	5芸大	
19日(木)	14:00 ~ 18:00	相談会	ホテルメトロポリタン長野(長野)	5芸大	
22日(日)	10:00 ~ 17:00	オープンキャンパス	京都嵯峨芸術大学	本学	
8月	1~3日(金~日)	10:00 ~ 17:00	オープンキャンパス	京都嵯峨芸術大学	本学
9月	15日(月・祝)	13:00 ~ 17:00	実技講習会(有料)	第一セントラルビル(岡山)	本学
	23日(火・祝)	10:00 ~ 17:00	オープンキャンパス	京都嵯峨芸術大学	本学
10月	18日(土)	13:00 ~ 17:00	作品講評会・相談会	京都嵯峨芸術大学	本学
	25日(土)	13:00 ~ 17:00	作品講評会・相談会	京都嵯峨芸術大学	本学

5芸大=京都嵯峨芸術大学 / 京都精華大学 / 京都造形芸術大学 / 成安造形大学 / 大阪成蹊大学

## 附属博物館 企画展

### 第4回企画展

「貿易扇 - 欧羅巴が求めた日本美 -」

本学卒業生で、扇面上絵師である菊井伯幸氏が、長年にわたり蒐集された扇のうち、主に「貿易扇」と通称されるものを拝借し、展示を行います。

期間...4/1(火)~6/30(月)

開館...10:00~18:00(最終日17:00まで)

毎月曜日休館(6/30を除く)

入場無料

お問合せ... TEL075 864 7852(直)

museum@kyoto-saga.ac.jp

貿易扇とは?

慶應末に京都の扇商が兵庫の外人居留地へ扇を持って行き、アメリカ商館へ売り込んだのが扇子輸出の始まりで、慶應3年に開催されたパリ万博では、日本の美が注目を浴び、日本趣味「ジャポニズム」という文化現象がおきていた。すでに出品作品としてフランスに渡っていた扇は、モネなど印象派の画家たちにより絵画の中に描かれていた。ヨーロッパでは以前から社交界のアクセサリとして扇は用いられ、日本でもより欧米人受けする欧州扇を模倣した貿易扇が作られるようになった。日露戦争後は、日本人や日本の山水をモチーフにしたものが流行し、昭和期になると、世界恐慌の影響で貿易扇の需要は落ち込み、輸出できなかつた扇が国内に出回り、現在の扇に大きな影響を与えることになった。

## 附属博物館 ワークショップ

「扇に絵を描こう!」

附属博物館で開催中の企画展「貿易扇」にちなんで、4月26日(土)に嵐山小学校生徒(4~6年生)を対象としたワークショップを行いました。完成した扇は、6月17日(火)~6月29日(日)に附属ギャラリーアーツスペース嵯峨で開催する企画展において、本学教職員による扇作品とともに展示されます。

なお、附属博物館では、今後もワークショップ等を実施していく予定です。

## 講演会情報

「ヨシの文化談義」

滋賀県の秦荘町歴史文化資料館で開催中の春季展示会「ヨシを護る・撮る・描く」における記念行事として、5月11日(日)に「ヨシの文化談義」と題した講演会が開催されます。この講演会に、章の保全と有効活用を研究されている芸術学部観光デザイン学科の金氏脩介教授が講演を行います。(申込制)

[秦荘町歴史文化資料館]

TEL0749 37 4500 FAX0749 37 4520

http://www.town.hatasho.shiga.jp

## 細見美術館メンバーシップ

細見コレクションを中心に日本美術の名品の数々を展示、公開されている細見美術館のキャンパスメンバーシップ制度にこのほど加入しましたので、多彩な企画展を無料でご覧いただけることになりました。ぜひ、ご利用ください。期間...2003年4月1日~2004年3月末(ただし展覧会開催期間中のみ)

対象...在学生・研究生・研修生・教職員  
入館...窓口で学生証、教職員証を提示

[細見美術館]  
京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

TEL075 752 5555

http://www.emuseum.or.jp/

## 京都嵯峨芸術大学広報

第4号

2003年5月9日発行

編集 京都嵯峨芸術大学 企画広報室

発行 学校法人大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学

〒616 8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地

TEL075 864 7859

FAX075 882 7770

http://www.kyoto-saga.ac.jp

info@kyoto-saga.ac.jp

印刷 株式会社 石田大成社